

# 群馬県立女子大学

GUMMA PREFECTURAL WOMEN'S COLLEGE

所在地 群馬県佐波郡玉村町大字上之手1395-1  
建築主 群馬県  
設計者 (株)坂倉建築研究所  
施工者 信澤工業株式会社  
佐藤建設株式会社  
小野里工業株式会社  
田中建設株式会社  
佐田建設株式会社  
柏井建設株式会社  
井上工業株式会社  
竣工 1982年3月20日

location Gumma Prefecture  
owner Gumma Prefecture  
architects Sakakura Associates, Architects and Engineers  
contractors Nobusawa Kogyo Co., Ltd.  
Sato Construction Co., Ltd.  
Onozato Kogyo Co., Ltd.  
Tanaka Construction Co., Ltd.  
Sata Construction Co., Ltd.  
Kashiwai Construction Co., Ltd.  
Inoue Kogyo Construction Co., Ltd.  
completion date March, 1982





研究棟(左)と教室棟に面した中庭 Courtyard.



回廊からクラブ棟を見る Clubroom wing.



研究棟吹抜け Stairwell of the research wing.



講堂ロビー Auditorium lobby.



図書館吹抜け Skylight of the library.

#### 建築概要

敷地面積 64,863m<sup>2</sup>  
建築面積 13,628m<sup>2</sup> (外構建物含まず)  
延床面積 17,768m<sup>2</sup> (外構建物含まず)

構造 鉄筋コンクリート造 一部屋根:鉄骨造  
規模 地下1階 地上2階

#### 仕上げ概要

外部仕上げ 屋根:アスファルト防水B-2仕様 砂利押え 外壁:45mm二丁掛け磁器質タイル 建具:サッシュ/アルミ・アルマイド ガラリ/アルミ・ジュラクロン 玄関ドア/H型鋼フレーム グラファイトペイント 木製(マモ)扉OSCL

内部仕上げ 講堂・客席 床:パンチカーペット 壁:コンクリート打放しUCC及び有孔タモ練付けベニヤOSCL 天井:タモ練付けベニヤOSCL 及び有孔タモ練付けベニヤOSCL 教室棟・普通教室 床:Pタイル 壁:幅ベニヤOSCL 天井:有孔幅ベニヤOSCL 研究棟・研究室 床:Pタイル 壁:モルタルまたは石膏ボードVP 天井:岩綿吸音板 図書館・閲覧室 床:カーペットタイル 壁:幅ベニヤOSCL 天井:有孔幅ベニヤOSCL

#### 設備概要

空調 方式:ゾーン別セントラルダクト方式一部ファンコイル併用 冷凍機:ターボ冷凍機294USR×1台 水冷チラーユニット100USR×1台 ポイラー:鋳鉄セクショナルポイラー 1,034,000Kcal/Hr (灯油焚き)×2台

衛生 給水:タンクレスポンプ加圧方式 上水・雑用水(井水)の2系統供給 給湯:給湯ポイラー150,000Kcal/Hr (大学会館・管理棟用) 太陽熱温水器(クラブ棟) 排水:汚水・雑排水は建物内分流 屋外にて合流し合併式淨化槽へ導く (100m<sup>3</sup>/日 30ppm)

消火 屋外消火栓



講堂 Auditorium.



回廊と広場 Circular plaza and colonnade.

選評 横文彦 大高正人 倉本佳亮

群馬県立女子大学の基本構想は昭和53年5月に行われた21者による競技設計の結果実施案として採択されたものに基づくものである。その後実際の設計が始まる段階で敷地の形状やプログラム上の若干の変更があったようであるが、その時の基本構想はほとんどがそのまま提案通りに実施されたといってよい。

群馬県立女子大学のデザインの最も特徴的な点は、円形広場と4つの庭を内包した建物群がつくり出すキャンパスプランとしての構成にある。そしてこれ等の領域は外部に対しても強い形態的発言を行っている。そしてこの外壁をこの地方特有の防風樹である「かしぐね」によりさらに囲みこむという提案は周辺があまり特徴のない環境であるだけに、新しいキャンパスの存在を確立する方法として極めて優れたものであるといってよい。

もう一つ特徴的な点は、教室群棟を出来得る限り低層、即ち1層とすることによって、4つの庭園にヒューマンなスケールを与えるとともに、教室群を結ぶ回廊に、コミュニケーションの場として重要な役割を与えていた点である。この低層の教室群は、施主である女子大学長が強く希望されていたという事であり、今日ややもすれば高密度化イコール高層化という教育施設の中で、特に高等教育機関である大学施設であるだけに、極めて印象的なキャンパスをつくりあげている。

またこの低層群を結ぶ回廊はスケール、デザイン等について、コンクリート打放しという素朴な材質感から最大のデザ

イン効果をひき出す努力が随所にみられ、ともすれば冗長になり易いこの種のデザインに対して好ましいリズムとスケールを与えている。特に地元の7つの業者の協同作業という、デザイン・施工上極めて難しい条件下のもとで、まず典型的な部分について規範となるモデルを作り、それに基づいて他の同様の部分もつくっていくなど短期間の工事の中で、建築事務所と施工者との間の緊密な作業と工夫のあとが多く見られたのである。

このキャンパスは教室棟の外、円形広場を囲んで講堂、体育館、事務棟等の特殊な建築群があり、また教室棟の中央に2層の吹抜けをもった研究棟がある等、一見簡明な幾何学形に基づく構成の中でそれぞれに個性のある要素がとりつく形で、このキャンパスに空間的、視覚的に変化と楽しさを与えるべく様々な演出がなされている。そしてロウコストの中で一貫して詳細に至るまで真摯なデザインと施工によって裏づけられている。特に図書館棟は徹底して合板を使いながら光とマチエールのアンサンブルをつくり出しているのが見事であった。

そしてよく使用者がこのキャンパスの基本理念を理解し、使いこなされ、また植樹を始めとする環境整備に力を入れられているのを見るとき、この大学は今後5年、10年と使いこなされていく時に、またさらによいキャンパスになっていく楽しみを充分に備えていると思われる。これ等の点を総合してBCS賞にふさわしい建築であるという事が出来よう。

REVIEW Fumihiko Maki, Masato Otaka and Yoshiaki Kuramoto

Though, at the actual design stage, the lay of the land on the site caused some minor alterations, in general the basic plan of Gumma Prefectural Women's College, which was selected as a result of a competition held in 1978 among twenty-one participants, has been applied in preparing the campus. The plan is characterized by building groups enclosing a circular plaza and four other plazas that make strong statements in relation to exterior spaces. Furthermore surrounding the buildings with trees of a kind locally used in windbreak groves is an excellent way to create a striking new campus in a largely undistinguished environment.

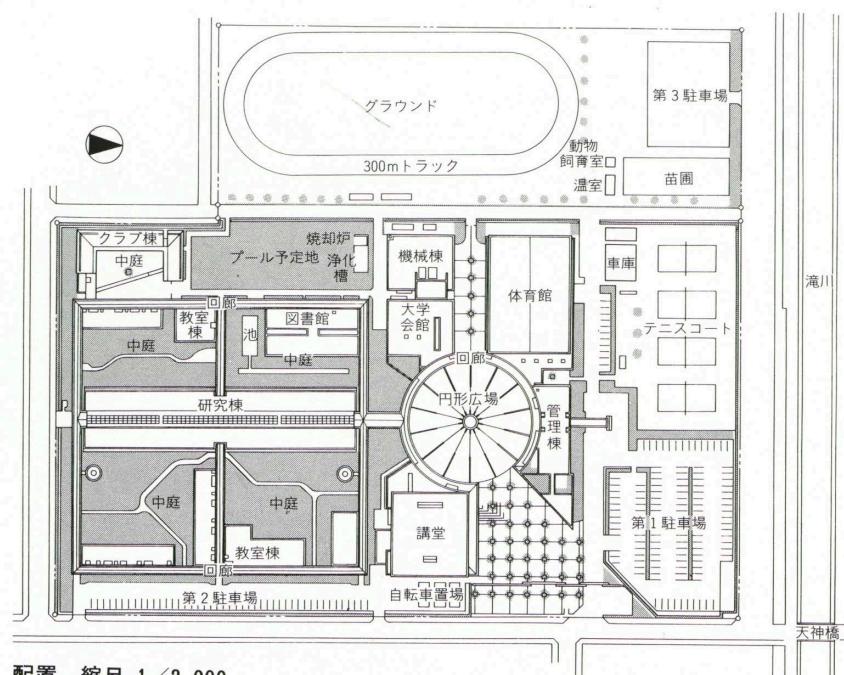
Other characteristics of the plan are the way building heights have been restricted—one story in the classroom buildings—to impart a human scale to the four plazas and the important role of the connecting corridors as communications spaces. The school authorities strongly requested limitations on building heights. And the result is a very impressive campus, especially now when, in educational institutions, high density is generally considered synonymous with high-rise building.

The distinctive qualities of exposed concrete have been put to optimum use in many places throughout the connecting corridors

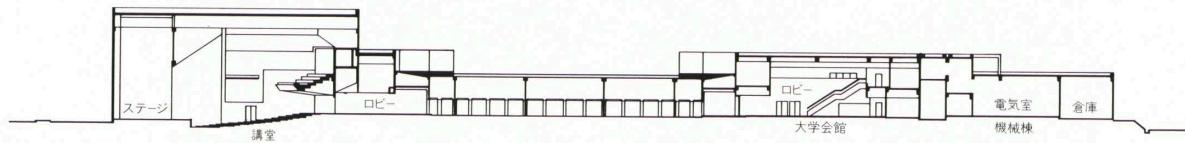
for the sake of scale and design merits. Furthermore the scale and the rhythm of the spaces prevent the waste to which design of this kind is prone.

Working under difficult conditions, the designers and contractors maintained close and highly creative relations throughout the project.

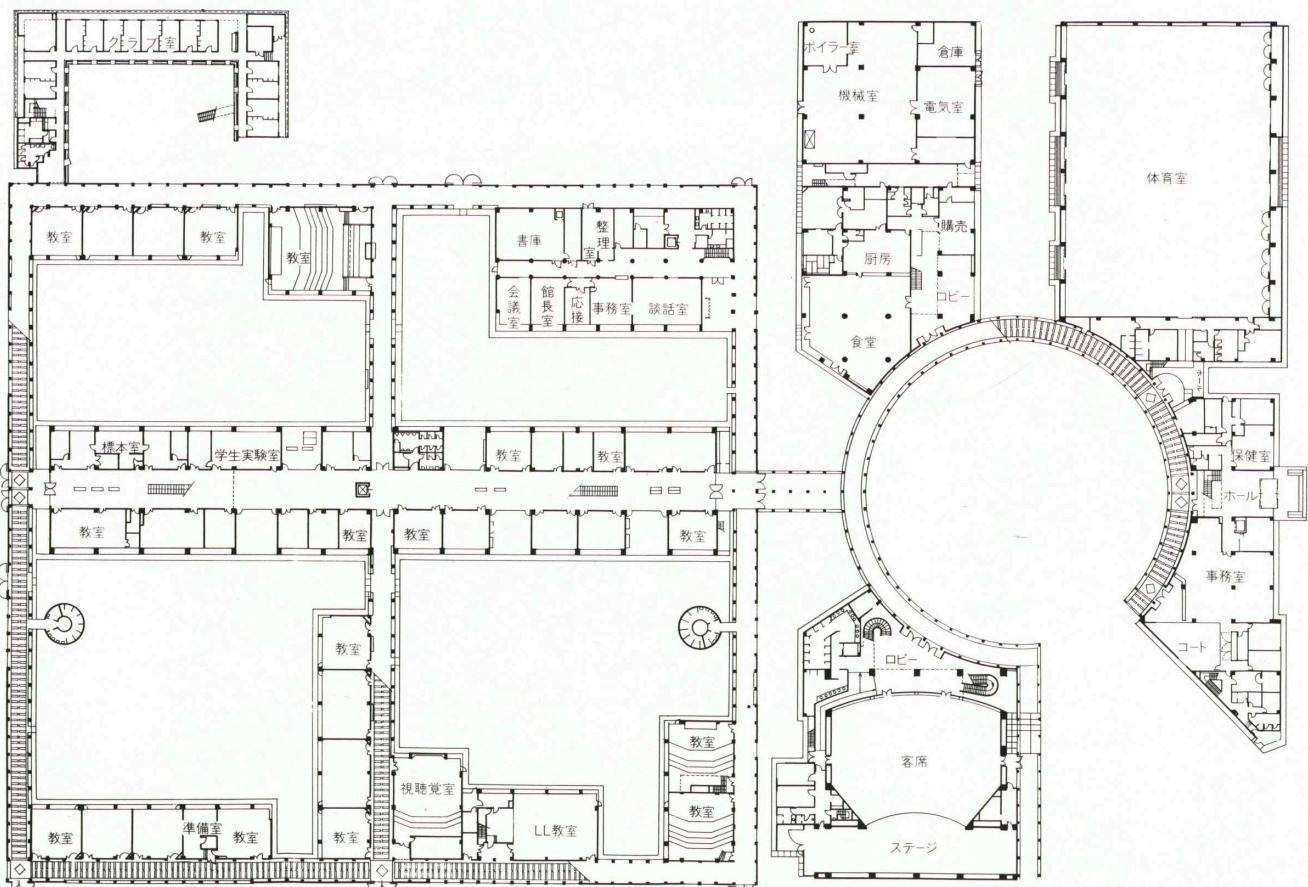
Though at first glance the campus composition seems simple and basically geometrical, various measures have been taken to provide pleasure and spatial and visual variety.



配置 縮尺 1/3,000



断面 縮尺 1/1,000



1 階平面 縮尺 1/1,200